

授業科目 水泳指導法実習

【担当教員名】 下山 好充、佐藤 大輔		対象学年	3	対象学科	スポ
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
	○	◎	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 水泳の指導者として必要な指導方法を学び、実践する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 水泳の指導計画を立案し、実践、評価する。 2. 日本泳法（横泳ぎ）を習得する。 3. 個人・集団の指導を実践する。 4. 現場における心肺蘇生法を学ぶ。 5. 各種トレーニング方法を実践する。 6. 各種コーチング方法を実践する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション			1	実習
2	日本泳法（横泳ぎ）の習得（1）			2	実習
3	日本泳法（横泳ぎ）の習得（2）			2	実習
4	集団・個人の指導法の実習、指導計画の立案評価（1）			3	実習
5	集団・個人の指導法の実習、指導計画の立案評価（2）			3	実習
6	心肺蘇生法（1）			4	実習
7	心肺蘇生法（2）			4	実習
8	心肺蘇生法（3）			4	実習
9	指導実習 トレーニング法の実践（1）			5	実習
10	指導実習 トレーニング法の実践（2）			5	実習
11	指導実習 トレーニング法の実践（3）			5	実習
12	指導実習 コーチング法の実践（1）			6	実習
13	指導実習 コーチング法の実践（2）			6	実習
14	指導実習 コーチング法の実践（3）			6	実習
15	まとめ			1	実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		新水泳指導教本	財) 日本水泳連盟	大修館書店	2009・2,520円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、授業態度、レポート		【履修上の留意点】 競泳用水着・スイムキャップ・ゴーグル・バスタオル・Tシャツを準備する。 「公認水泳コーチ」資格取得の必修科目です。			